

2025 年度修了奨学生からのメッセージ(抜粋)

博士課程の3年間、経済的な不安を抱えることなく研究に打ち込むことができたのは、関係者の皆様および支援企業の皆様のおかげです。また、各種交流会では企業の方々と直接お話しする機会をいただき、自身のキャリアビジョンを明確にする大きな助けとなりました。心より感謝申し上げます。

おかげさまで研究と学業に専念することができました。先進的な研究環境や生活文化に強い魅力を感じ、研究者としての視野と経験を大きく広げることができました。今後は更なる成果を追求するとともに、国際的な研究交流にも積極的に取り組み、化学分野の発展に一層貢献できるよう努めてまいります。

経済的な不安なく学業に専念できたことで、専門知識と実践力を深める貴重な機会を得ることができました。今後は社会に貢献できる人材として成長してまいります。

貴プログラムのおかげで経済的な不安なく研究活動に没頭することができ、博士課程において目標としていた成果を挙げることができました。本プログラムを通じて得た学びと経験は、私の研究者としての大きな財産です。今後はこの経験を糧に、化学分野の発展と社会への貢献を目指し、研究者として一層精進してまいります。

本奨学金は学修と研究に専念できる貴重な支えとなりました。将来は化学的知見に基づく課題整理や政策立案を通じ、環境対策や人材育成など社会に還元できる役割を担いたいと考えています。今後も専門性と公共性を意識し、研鑽を積んでまいります。

朝から晩まで、月曜から土曜日までラボで研究をしていましたが、一人暮らしという選択がなければ、博士課程に行くことすら諦めていたと思います。おかげさまでさまざまな研究成果を学会や論文で発表することができ、充実した研究生活を送れました。

3年間に及ぶ本プログラムの金銭的な支援により博士後期課程での研究生活に邁進することができました。卒業後は、化学業界を支える人材として社会に貢献していきたいです。

本奨学金のおかげで、博士課程在学中の経済的な不安を解消でき、研究活動に専念できる環境を整えることができました。また、化学人材交流フォーラムや学生企業交流会では、化学系企業の研究者や人事育成担当者の方々に向けた研究発表と議論の場を設けていただき、自身の発表に対して有益な質問を頂けただけでなく、その後の懇親会では、他の奨学生や企業の皆様と交流を深めることができました。これらの交流会を通して、自身の研究と産業社会とのつながりを再認識し、化学産業界で働く将来の自分の姿を想像することができました。

博士課程在籍中は化学人材育成プログラムを通して多大なるご支援を受け、それにより安定して研究や就職活動に取り組むことができました。今後は、学生企業交流会や化学人材交流フォーラム等を含む、博士課程全体を通して得た人脈や知見を有効活用することにより、化学産業界の発展に貢献できるよう精進していきたいと思っています。